

秋田県指定伝統的工芸品

本荘こけし 絵付けワークショップ

鳥海山
木のおもちゃ館
CHOKAISAN KINO OMOMCHA KAN



本荘こけしの歴史は、明治期に本荘の地に鳴子からの木地師が移り住み、本荘の地で木地技術を伝えたことに始まります。その技術を受け継いだ職人・河村辰治が、鳴子で改めてこけし作りの技を習得（明治30年頃）した後、本荘の地で子供の玩具や土産物として販売されるようになりました。以後代々受け継がれ、現在までその技を継承しています。その後受け継がれ、現在までその技を継承しています。その後受け継がれ、現在までその技を継承しています。



伝統柄は井桁（いげた）、絣（かすり）、楓（かえで）、石竹（せきちく）、あやめ、立ち菊（たちぎく）、変り井桁（かわりいげた）、炎菊（えんぎく）の8柄

参加者募集
ご予約受付中

2025年

6月21日 土

8月16日 土

鳥海山木のおもちゃ館 木工室
(由利本荘市町村字鳴瀬台 65-1)

開催時間 ① 10:30 ② 13:00

定員 各回8名

所要時間 60分程度

参加費 1,200円

こどもも
大人も
OK

※絵付けしたこけしはすぐにお持ち帰りいただけます。
※鳥海山木のおもちゃ館に入館せず、ワークショップのみの参加も可能です。

秋田県認定工芸士

講師 菅原修工人（菅原木工芸所）

昭和62年、当時本荘こけしの伝統を継いでいた河村守から許可を受けて本荘こけしの製作を始めた。継承者が一時途絶えた時期を含め、長きにわたり本荘こけし作りの技を継いで今に至る。令和7年、秋田県認定工芸士に認定された。

鳥海山 木のおもちゃ館

☎ 0184-74-9070

お問い合わせ・ご予約
フォーム
参加申込み



お問い合わせ・ご予約